

— 告 白 —

KIT  
キャンパス  
レポート  
文：出島二郎  
マーケティングプランナー



岡本昇磨(あかもと しよま) 金沢工業大学大学院工学研究科 建築学専攻 博士前期課程1年 京都府立宮津高等学校出身

# 課外活動プロジェクトが 充実している大学です。

岡本さんは祖父が大工で工務店を立ち上げ、父が設計士という環境で育ったから、建築は小さいころから身近な存在であった。大学受験では、親から離れた場所で、勉強だけでなく全体的に成長できることなどから金沢工大を選んだ。新幹線開通で注目され、文化レベルの高い街ということもあった。

「大学を調べていたときに金沢工大も一つの選択肢として資料を取り寄せました。そして学内はもとより学外にも活動のフィールドを持つていることが魅力的だなと。学部一年次から月見光路プロジェクトに参加していたこと、設計課題をやっていく中で、デザインだけでなく基礎の計画論を勉強したいと川崎研究室に入りました。」  
指導教授の川崎寧史先生の専門

は建築計画学、都市・空間デザイン。金沢中心部の空間デザインを実践的に行い、金澤月見光路やテーマアート、DK at cafeなどのデザインプロジェクトを継続的に実施している。

「川崎先生は学生の自主性や頑張りを評価してくれて、積極的にやりたいことを助けてくれる。学生の個性が活かせる自由なゼミです。二〇〇四年から続けている月見光路は、地元商店街・地域住民と連携してあかりで街中を演出するライトアップイベント。この大学は、建築でも他の学部でも、学外の課外プロジェクトが多くて充実しているところがいい。産学連携の職員や夢考房の技師さんもしっかりサポートしてくれます。」

岡本さんは、第十六回主張する「みせ」学生デザインコンペで奨励賞を、日本図学会中部支部で学生発表の最優秀者に授与される奨励賞を受賞した。いずれも課外プ

ロジエクトを発展させたものだが、イベントとして実施するだけでなく、学会で評価されたことが大きな成果だったという。

「現在の研究テーマは、都市部と地方における新しいライフスタイルとワークスタイルの集合居住計画です。家族の形態が変わってきて、多世代家族、核家族という形から、他人同士で住むシェアハウスが生まれた。そのシェアという部分に興味を持っているんです。ネット時代だからこそ、顔をつきあわせて繋がる良さを、建築を通して発見できたらいいな。」

就活は関西を中心に組織設計に照準をしぼる。修士設計、学外コンペの応募、月見光路の集大成、さらに一級建築士受験の準備など、残りの学生生活の計画を立てながら、充実した毎日を楽しんでいる。

## 金沢工業大学

石川県野々市市扇が丘五七一  
電話番号(〇七六)二四八二二〇〇